

令和元年度 再評価点検表（内部評価）

1 事業概要

事業名	都市計画道路 豊中岸部線		
担当部署	都市整備部 交通道路室 道路整備課 建設グループ（連絡先 06-6944-9276）		
事業箇所	大阪府吹田市岸部中三丁目～岸部中四丁目地内		
再評価理由	総事業費の大幅な変更（3億円以上の増額）		
事業目的	<p>都市計画道路豊中岸部線は、大阪北部の道路ネットワークを形成する路線として計画され、豊中市の府道大阪池田線から吹田市中央部を經由し、大阪市界までを結ぶ延長約10.5kmの幹線道路である。</p> <p>当該区間（府道大阪高槻京都線の岸部北交差点～岸部地下道 L=262m）は、現道の吹田市道岸部中内本町線が供用しているが、吹田操車場跡地のまちづくり計画が進められており、今後、周辺の交通が増大することが想定されるため、道路整備への期待が高まっている。</p> <p>【目的①：交通の円滑化】</p> <p>広域的な幹線道路である府道大阪高槻京都線との交差点は朝夕のラッシュ時には長い渋滞が発生し、地域の社会・経済活動などに支障をきたしている。また、吹田操車場跡地のまちづくりにより発生・集中する交通により、今後、渋滞が増えることも危惧される。今回の整備は、右折レーンの設置により交差点の渋滞緩和を図るとともに、現道拡幅を行うことでJR岸辺駅北側に整備された駅前広場へのアクセスを円滑化することを目的とする。</p> <p>【目的②：交通安全対策】</p> <p>現道の市道岸部中内本町線は歩道が狭隘であり、交通事故が多数発生している。また、当地区は吹田市のバリアフリー基本構想の重点整備地区に位置づけられており、バリアフリーに配慮した歩道を整備することにより、安全・快適な歩行空間を形成する。</p> <p>【目的③：防災対策】</p> <p>府道大阪高槻京都線は、災害時には、救急、救命、緊急物資の輸送、復旧、復興などの役割を担う広域緊急交通路に指定されている。本事業により、渋滞緩和が図られ、防災道路のネットワークが向上し、地域の防災力の強化につながる。</p>		
事業内容	<p>道路拡幅工 延長L=262m 幅員W=34m</p> <p>車道：4車線 {（車道3.25×2+停車帯1.50m）×2} +中央帯1.50m</p> <p>歩道：両側、（歩行者3.50m+自転車3.00m+植樹1.75m）×2</p>		
事業費 （ ）内の数値は 事前評価時点のもの		費用（億円）	備考
	事業費	14.6（9.3）	
	内訳		
	調査費等	0.6（0.2）	測量費及び設計委託費
	用地費	6.9（6.3）	
	補償費	4.9（1.6）	
	工事費	1.6（0.8）	街路築造工事及び舗装工事
	事務費	0.6（0.4）	旅費・庁費・人件費・雑費等
			【工事費の内訳】
			街路築造工事 約1.1（0.4）億円
			舗装工事 約0.5（0.4）億円

事業費の変更理由	事業着手後の詳細調査により、大型物件が補償対象となることが判明したことによる補償費の増加、軟弱地盤が発見されたことによる地盤改良工の追加などによる工事費の増加。
維持管理費	約110万円/年 (大阪府内の道路維持管理実績の5年間の平均値より算定)

2 事業の必要性等に関する視点

	事前評価時点 H24	再評価時点 R1	変動要因の分析
事業を巡る社会 経済情勢等の変化	<p>○周辺地域の状況</p> <p>吹田操車場跡地土地区画整理事業では、「緑と水につつまれた健康・教育創生拠点」の創出をコンセプトに居住機能も付加した持続可能で先進的な環境都市モデルとなるまちづくりが平成21年度より進められており、平成24年度には、岸部駅が橋上駅化され、駅北側に交通広場が供用している。また、平成25年度からは街区開発が進められる計画となっており、平成27年度末には換地処分が予定されている。</p> <p>○現道の状況</p> <p>吹田市道岸部中内本町線 11, 252台/12h 平成23年5月25日</p> <p>○交通事故発生件数</p> <p>49件（平成20年1月1日から平成23年12月31日までの4年間）</p>	<p>○周辺地域の状況</p> <p>[吹田操車場跡地]</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成24年度に市立吹田市民病院の移転が決まり、平成25年度には国立循環器病研究センターの移転が決まった。その後、平成26年度に関西イノベーション国際戦略総合特区への区域追加が承認され、平成27年度には、地区の名称が北大阪健康医療都市（愛称：健都）に決定された。また、平成27年度末に換地処分が完了した。 平成30年12月に市立吹田市民病院が移転したことに続き令和元年7月には国立循環器病研究センターが移転開業するなど、健都としての開発が進んでいる。 <p>[周辺道路]</p> <ul style="list-style-type: none"> 都市計画道路として接続予定の十三高槻線は、完成した区間から順次供用し、整備が進んでいる。 	—
地元の 協力体制等	地元市から早期の整備要望がなされており、府市が協力して進める。	—	—

	事前評価時点 H24	再評価時点 R1	変動要因の分析
事業の投資効果 ＜費用便益分析＞ または ＜代替指標＞	【効果項目】 ・ 走行時間短縮 ・ 走行経費減少 ・ 交通事故減少 【分析結果】 B/C=4.11 B=35.8億円 C= 8.7億円 【算出方法】 ・ 国道交通省「費用便益マニュアル（平成20年11月）」により算出 ※総便益及び総費用は基準年（平成24年）における現在価値で算出している。 社会的割引率は年4%、供用開始は平成30年、費用便益の算定期間は供用開始から50年としている。 ※総費用＝事業費＋維持管理費 【受益者】 地域住民、道路利用者	【効果項目】 ・ 走行時間短縮 ・ 走行経費減少 ・ 交通事故減少 【分析結果】 B/C=2.83 B=42.0億円 C=14.9億円 【算出方法】 ・ 国土交通省「費用便益分析マニュアル」（平成20年11月）により算出 ・ H17交通センサスペースのH42将来交通推計値により算出 【受益者】 ・ 道路利用者 ・ 地域住民	完成予定時期の延期と事業費増嵩により、費用便益比が低下した。
事業効果の定性的分析 （安全・安心、活力、快適性等の有効性）	【効果項目】 ・ 駅への交通利便性の向上 ・ バリアフリー基準に沿った歩道の整備 ・ 交通事故減少 ・ 災害時の防災機能向上		
事業の進捗状況 ＜経過＞ ①事業採択年度 ②事業着工年度 ③完成予定年度	① 平成24年度 ② 平成25年度 ③ 平成29年度	① 平成24年度 ② 平成25年度 ③ 令和2年度（予定）	用地交渉の難航により事業期間を3ヶ年延伸した。
＜進捗状況＞	—	用地取得が完了した区間から工事着手・供用しており、現在は、南側全線及び北側約180mが完成。 ・ 全体 71.9% (10.5億円/14.6億円) ・ 用地 70.3% (8.3億円/11.8億円) ・ 工事 81.3% (1.3億円/1.6億円)	—
事業の必要性等に関する視点	・ 吹田操車場跡地のまちづくり（健都）へのアクセス性向上、大阪高槻京都線との交差点部の交通の円滑化、現道の歩道部の安全性向上のため、必要である。 ・ 用地取得の進捗率70.3%、工事の進捗率81.3%であり、完成した範囲から部分供用を行っている。引き続き事業進捗と整備効果の発現を図る。		

3 事業の進捗の見込みの視点

事業の進捗の見込みの視点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 早期に効果を発現するため、用地が取得できた箇所から工事を進め、完成した範囲から随時部分供用を行っている。 ・ 平成30年12月に南側が完成した。 ・ 北側は、令和元年7月にL=184mが部分的に完成し、残るL=78mの用地取得を進め、事業認可期間内での完成を目指す。
--------------	---

4 コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点

コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点	現道拡幅を主とした平面改良であり、有効な代替手法は無い。
---------------------	------------------------------

5 特記事項

自然環境等への影響とその対策	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自然環境…本事業は、既存市街地を通過する道路であり、植栽により緑に配慮する。 ○ 騒音…広幅員の歩道により、発生源からの減衰が大きくなる。さらに、低騒音の舗装の採用により低減効果が期待できる。 ○ 振動…広幅員の歩道を整備することにより、発生源からの減衰が大きくなる。また、道路を適切に維持管理し、舗装等の状態を良好に保つことにより振動の影響を軽減できる。 ○ 大気汚染…渋滞緩和による排気ガス等の低減効果も期待されることから、影響は少ない。
事前評価時の意見具申（付帯意見）と府の対応	—
上位計画等	大阪府都市整備中期計画（案）平成24年3月 街路事業（吹田操車場跡地開発関連）として位置付け
その他特記事項	—

6 評価結果

評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事業継続 ＜判断の理由＞ <ul style="list-style-type: none"> ・ 現道拡幅による渋滞緩和とJR岸辺駅北側の開発エリアへのアクセス性が向上する。 ・ 歩道狭隘区間解消による安全・快適な歩行空間が形成される。 ・ 将来的に接続予定の都市計画道路十三高槻線の整備が進んでおり、広域緊急交通路に指定されている府道大阪高槻京都線と共に防災道路のネットワークが形成される。 ・ 事業進捗率71.9%であり、南側全線・北側184mが完成し、残る78mの用地取得・整備により完成予定であり、残工事区間の完成により事業効果の発現が期待される。 以上の理由から、事業を継続する。
------	--

令和元年度 再評価 都市計画道路 豊中岸部線

事業箇所図



平面図



現況写真

写真①(府道大阪高槻京都線 交差点)



写真②(供用済み区間 遠景)



標準断面図

